



九州管区行政評価局長表彰を受賞



本市の行政相談委員で笠沙地区を担当している宿里満子さんが、総務省九州管区行政評価局長表彰を受賞しました。11年余りにわたり住民の良き相談相手として広く行政に対する苦情や相談を受け付け、その解決のために尽力され地域住民の暮らしの向上に努めてきた功績が認められたものです。宿里さんは「いただけると思っていなかったので恥ずかしいが本当にありがたい」と笑顔で話しました。

南さつま市へようこそ



5月23日、台湾の陳銘俊^{ちんめいしゆん}台北駐福岡経済文化弁事処長が南さつま市を訪問し、砂像の見学やサイクリング体験、坊津観光案内所などの施設を見学しました。台湾でも砂像展示を行っており、サイクルツーリズムの先進地でもあることから、今後の市民交流の広がりが期待されます。陳処長は「台湾人の多くは日本が好きです。今後も信頼できるパートナーとして様々なことに協力したい」と話しました。

災害時の危険箇所を点検



5月20日、大雨などによる災害に速やかに対応できるよう関係機関と情報を共有するため、市主催による防災点検が行われ、南薩地域振興局、警察署、消防団が参加しました。擁壁倒壊の危険がある白亀団地や、堤防・河川敷地内に竹林が茂っており台風や豪雨時に堤防の越水や決壊の危険がある金峰の堀川堤防など、市内各地の危険箇所4件を点検し、市民が安全に生活できるよう今後の対策を再確認しました。

自転車事故ゼロの実現を目指す



6月4日、かせだドームで第12回南さつま市交通安全子ども自転車大会が開催され、市内小学校・義務教育学校から12チーム、65人の選手が参加しました。安全走行テスト・技能走行テストのほか、事前に実施した学科テストの合計点数で競いました。上位3校（益山小、阿多小、加世田小）は県大会に出場します。
【結果】団体1位：益山 ACE
個人1位：大迫優香さん（益山小6年）